

いみず

赤い羽根共同募金運動が
はじまりました。



10月1日 新湊曳山まつりでの街頭募金にて

お問い合わせはこちらまで【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

 **社会福祉法人 射水市社会福祉協議会**

〒939-0274 射水市小島700番地1
◆総務課 ☎52-5010

E-mail : honsho@imizushakyo.jp
ホームページ : <http://www.imizushakyo.jp/>

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています。

モバイル版は
こちら!



バーコードリーダーで
読み取りアクセス!



みんなで楽しむ!

みんなでも考える!

障がい者スポーツと

心のバリアフリー

毎年12月3日から9日までの一週間は「障がい者週間」です。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が目前となり、障がい者スポーツは大変注目を浴びるようになりました。

障がい者スポーツとは?

障がい者スポーツは、障がいがあってもスポーツ活動を楽しむことができるように、障がいに応じて競技のルールや実施する方法を変更したり、用具を用いて障がいを補ったりする工夫・適合・開発されたスポーツのことを指します。

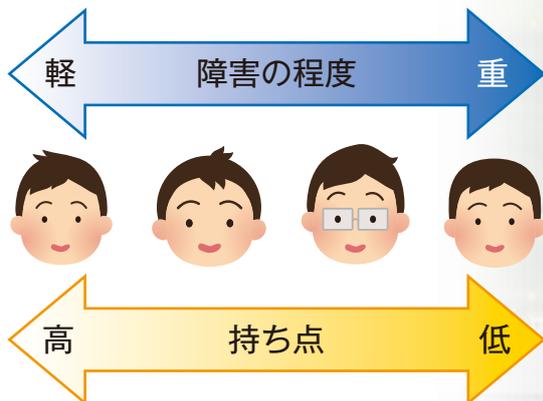
身体などの部分に障がいがあるのか、身体の動く範囲や能力はそれぞれ違ってきます。すべての選手が公平に競技に参加できるように、障がいの種類や程度ごとに選手を分け、ルールを決めています。

障がい者スポーツは、ルールや安全面の配慮を行っているだけで、「障がい者スポーツ」という特別なスポーツがあるわけではありません。そのため「アダプテッド・スポーツ」（障がいのある方に適応されたスポーツ）とも言われています。

みんなが楽しむための配慮

車いすバスケットボールなど、障がいの程度が異なる選手たちがチームを組んで戦う競技では、障がいの程度によって持ち点が異なる「ポイント制度」を導入しています。

じつは、このような工夫は健常者のスポーツでも行われています。バレーボールでは、男と女、または小・中・高・一般（大人）でそれぞれネットの高さが違います。体の大きさや運動能力の差を補うことで、性別や年齢にかかわらず、みんなが同じスポーツを同じように楽しめるようになっていきます。





「心のバリアフリー」

障がいのあるなしに関わらず、みんなが楽しみ、みんなが参加できるようにするには、建物や交通機関などのバリアフリーだけではなく、「心のバリアフリー」が必要不可欠です。

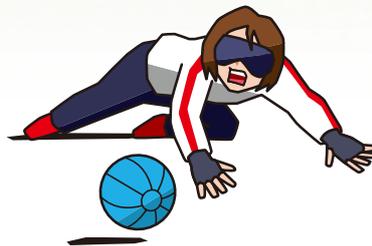
「心のバリアフリー」は、さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。（ユニバーサルデザイン2020行動計画より）

お互いの理解を深める方法のひとつとして、障がい者スポーツの体験活動があります。

例えば、障がいのない人はアイマスクをつけたり、座ったままの姿勢で競技をプレイしたりすることで、障がいのある人と同じ条件でスポーツを楽しむことができます。また、県内には健全者も参加することのできるスポーツ教室やクラブもあります。詳しくは、「富山県障害者スポーツ協会」（☎076-413-12248）のHPをご覧ください。

それぞれの障がいの特性や、障がいのある人のことを理解することで、その人の目線になって周りを見ることができ、相手にとって何が「バリア」なのか見えてくることもあります。

この機会にみなさんも障がい者スポーツをおして「心のバリアフリー」を広げてみてください。



ほかにもあるよ！ 「〇〇ピック」

オリンピックやパラリンピックのほかにも、〇〇ピックという言葉があります。

デフリンピック

聴覚に障害のある選手を対象とした競技大会。音を使わず、指示はすべて目で確認できるようにしています。それ以外はオリンピックと同じルールで、4年に1度開催されます。

スペシャルオリンピックス

知的に障害のある選手を対象とした国際競技大会。4年に1度開催されます。

アビリンピック

障がいのある人が、仕事の作業の早さや正確さを競う大会。ほぼ毎年開催され、およそ4年に1度世界大会も開催されます。

ねんりんピック

おもに60歳以上の高齢者が参加する行事。スポーツだけでなく、文化や音楽の交流など幅広く行われます。



▲2018年ねんりんピック（富山県開催）

◆地区社会福祉協議会とは？

略して「地区社協」とよばれ、市内には27の地区社協が組織されています。地域の「困ったなあ」をご近所パワーや地域の力でできることはないかを考え助け合いをしています。



▲ 健康と医療について野澤院長講演



▲ 歌と踊りの“福美会”公演

地区社協活動紹介

大門地区社会福祉協議会は平成20年3月の設立以来、様々な活動を通じて地域の福祉向上に努めています。

現在、ケアネット活動やひとり暮らし高齢者の見守りなどの日常活動の他、老人ホーム、デイサービス、障がい者支援施設などの福祉施設の活動支援、児童クラブ事業支援を行っています。

また、ひとり暮らし高齢者を対象とした「バス見学」を実施し、毎回大変好評をいただいています。今年度は“県民公園頼成の森 散策”（実施済み）、“富山ガラス工房見学”を予定しています。さらに、時節に合わせたテーマで「公演会」や「クリスマス会」を行い、参加者も多く、大変喜ばれています。

夏の熱中症予防や冬の寒さ対策として「ペットボトルのお茶・スポーツ飲料」「貼るカイロ」を配布しています。

これからも高齢者や子どもが安心して暮らせるよう、地域のみなさんとともに活動していきます。

地区の特徴・歴史

射水市西部、あいの風とやま鉄道の南側に位置し、庄川の右岸と左岸にまたがった地域です。

中心部は古い町並みで昔の風情がまだ少し残っています。近くには学校、公園、医療施設やスーパーなど暮らしやすい施設が整っていますが、他の地域に比べて高齢化率が高く、課題も多くあります。

地区社協からひとこと

地域振興会や関係団体と連携し、「互いに助け合い、誰もが安心して暮らせる地域づくり」のための活動を続けていきます。

【会長】

鈴木 三郎

【設立年月日】

平成20年3月13日

【人口】

2,411人(平成31年1月10日現在)

・世帯数 975世帯

・高齢者数(65歳以上) 903人

高齢化率37.5%

・児童数(小学1~6年生) 86人



Hello!

ぼらんていあ

ボランティアグループ活動紹介

紬の会

民謡や相撲甚句やコーラスと、バラエティーに富んだ内容で活動しています。一緒に、歌い笑い楽しくがモットーです。

◆ボランティアを始めたきっかけ

着物の着付け教室の有志が、お互いの趣味や特技を活かし、ボランティアをさせてもらおうと、4年前に結成しました。会員のお父さんやご主人なども加わり、まるで家族のような仲間です。

◆活動していてやりがいを感じる時

百歳の方までも一緒に踊ってくださったり、ホール全体に皆さんの歌声が響き渡り、最後に握手をして「また来てね。元気だね」と言ってくれるお一人お一人から、私たちがパワーをいただいています。

◆最後にひとこと

着物の着付けを通して集まった私たち。これからも日本の心「おもいやり」を大切にしていきたいと思います。



▲施設での活動のようす

射水市ファミリーサポートセンター



Family Support

日々の活動紹介!



お子さんの送迎・預かりなどをサポートしています!



令和元年度

ファミリーサポートセンター 会員研修会

令和元年10月2日 会員研修会を開催しました。

講師に、うた遊人「ゆきみだいふく」さんをお招きし、講演を聞いた後にファミリーサポートセンター協力会員、学童支援員、ボランティア等の参加者で交流会を行いました。交流会では、和やかな雰囲気の中、日頃の活動について意見交換が行われ、参加者からは、「使えそうな遊びがたくさんあり、是非次の活動の時に生かしたい。」「地域の様々な子育て支援をしている方と出会えてよかった。」との声が聞かれました。

「地域の様々な子育て支援をしている方と出会えてよかった。」との声が聞かれました。

依頼会員

協力会員

を募集しています!



ファミサポ キャラバン

依頼会員を希望される方向けに説明会を開催します。ご利用を検討されている方は、ぜひご参加ください。ファミサポの利用方法や疑問点などにお答えします。

開催日時 11/6(水) 10:00~ 太閤山子育て支援センター
11/20(水) 10:00~ 射水市子育て支援センター

問合せ先

射水市ファミリーサポートセンター 射水市小島700番地1 大島社会福祉センター2階
☎52-7081 FAX52-5852 E-mail: ifss@imizushakyo.jp

赤い羽根共同募金運動が はじまりました。

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まり、初日には、小杉駅と新湊曳山まつりで街頭募金を実施しました。

たくさんの方々が募金にご協力いただき、ありがとうございました。

11月9日開催の農業産業まつりにて イベント募金を実施します

令和元年度赤い羽根共同募金目標額
12,226,000円!!

さまざまな募金活動を行っています。

戸別募金
世帯を対象に

街頭募金
通行人を対象に

法人募金
企業を対象に

イベント募金
イベント参加者を対象に

職域募金
従業員を対象に

学校募金
児童・生徒を対象に

個人募金
個人から

みなさまからいただいた
あたたかい気持ちは…
ボランティア団体をはじめ
とする市内の各種団体へ配
分され、活用されます。
ご協力よろしくお願いま
す。

いみずのまちをもっとよくしたい!!



ボランティア団体



障がい者団体



NPO法人・福祉施設



社会福祉協議会
など

転

ばぬ先のアドバイス

プラス



高齢者の住まいについて

高齢になっても安心して生活するための選択肢として、高齢者向けの住宅や老人ホームなど高齢者対応の住まいに住み替えるという方法があります。



高齢者住宅の種類と機能

サービス付き高齢者向け住宅

バリアフリー対応の賃貸住宅。自宅のような感覚で生活でき、介護、生活サービスも受けられます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
○	○	1~5

住宅型有料老人ホーム

自宅での生活が少し困難な方に適しています。介護が必要になったら、外部の介護サービスを利用することができます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
○	○	1~5

介護付有料老人ホーム

介護が必要になった方に適しています。施設内の常駐スタッフが介護サービスを提供してくれます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
		1~5

ケアハウス

自分で日常生活ができていても、独立した生活が不安な方に適しています。介護が必要になったら、外部のサービスを利用することができます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
○	○	3程度まで

グループホーム

認知症対応の介護施設。家庭的な雰囲気の中、少人数で共同生活を行いながら、生活全般の支援を受けることができます。

入居条件			
自立	要支援	要介護	その他
	○2~	1~5	認知症の診断

特別養護老人ホーム

常時介護が必要な方で、自宅での生活が困難な方が入所できます。介護や日常生活の世話、機能訓練を受けることができます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
		3以上

介護老人保健施設

病状が安定しており、入院治療の必要はないが、リハビリや介護、看護を必要とする方の施設。医学的管理下で日常生活上の世話を受けることができます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
		1~5

介護療養型医療施設

急性期治療が終わった後の、比較的介護度の重い方に適しています。医学的管理下での、介護、医療処置、日常生活上の世話を受けることができます。

入居条件		
自立	要支援	要介護
		1~5

以上のように、高齢者住宅や老人ホームには様々な種類があり、制度も複雑なので、いざとなった時に判断がつきにくいのが現状です。それぞれの希望と状態に合わせた住まいを選ぶためには、どうすればよいのかお元氣うちから少し考えてみませんか。

問合せ先 射水市大島在宅介護支援センター 射水市大島北野33
☎ 51-6010 FAX 51-6011





第14回 射水市社会福祉大会

令和元年10月9日、アイザック小杉文化ホールラポールにて「第14回射水市社会福祉大会」を開催しました。

式典では、社会福祉に貢献された18名5団体の方々へ、門田会長より表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈を行いました。その後、決意を新たに「互いに助け合い支え合うまち 射水」の実現に向けて、一層努力することを宣言し、「包括的な共生社会の実現」など8項目を掲げ、参加者一同で決議を行いました。

小杉爆笑劇団による寸劇と、社会福祉法人射水市社会福祉協議会 常務理事 事務局長 佐野裕二氏の「ひきこもり支援は社会全体の問題〜総社市におけるひきこもり支援の取り組み〜」の講演を通じて、「一人ひとりが、地域で起きている問題に目を向けること」「地域コミュニティが大きな役割を果たすこと」を改めて認識させていただきま



射水市社会福祉協議会会長表彰

●社会福祉事業関係者及び団体

(個人)

綿谷 淳子	青山 昇信
塚本 秀樹	廣瀬 秀昭
小玉二三子	仲西久美子
中村 禮子	吉野富士子
松木美枝子	山下ちか子
松山 文子	宮田 法子
塚元 由美	手崎美和子

●社会福祉事業協働者及び団体

(個人)

堀田 玲子	大嶋 富子
田中 一美	山本美喜子

(団体)

小杉手話サークルあじさいの会
アースの会
渋川流剣詩舞道菊帆会下村教室

射水市社会福祉協議会会長感謝

●寄付者及び団体

(団体)

チューリツヒ保険会社
射水市立新湊中学校生徒会

※敬称略



今回は日頃の活動を紹介します。

民生委員
児童委員です。

心配ごと相談

地域住民の心配ごとの相談窓口として市内2ヶ所(本所・新湊支所)に相談所を開設し、様々な相談に対し、適切なアドバイスや関係機関との連絡・調整を行っています。



障がい者とのレクリエーション交流会



暮らしやすいまちづくりを目指す取り組みのひとつとして、障がいをもつ方々やその家族及び関係団体と一緒にレクリエーションを通じて交流をしています。



みんなの声



前号 (No.55) で読者のみなさんから寄せいただいた
ご意見・ご質問にお答えします。



Q 集めた古切手や使用済み切手は、
どのように切って、どこへ持って
いけばよいのでしょうか？



A 切手は消印を残すように、切手か
ら5mm～1cm離して台紙ごと切り
取ってください。
大島社会福祉センターの1階に
切手の回収ボックスを設置してい
ます。また、射水市ボランティア
センターや新湊ボランティアス
テーション（新湊支所）でも受付
けています。直接、ボランティア
団体へ渡すときは、事前に射水市
ボランティアセンター（☎52-
5190）にご連絡ください。



Q 介護・認知・生活保護などの問題
が生じたとき、どこに相談すれば
よいのでしょうか？



A 社会福祉協議会では、福祉に関す
るさまざまな相談を受付けていま
す。どこに相談したら良いのかわ
からない心配ごとや困りごとがあ
りましたら、なんでもご相談くだ
さい。
心配や悩みごとなどの相談に応
じ、適切な助言や援助を行います。

みんなのきもち ありがとう

皆さまより福祉のためにご寄付いただきました。
お寄せいただいた浄財は、各種社会福祉事業に
活用させていただきます。

- 【社会福祉事業】 匿名 5,000円
匿名 5,000円
- 【善意銀行】 江柱町獅子方 10,000円
浜開獅子舞保存会 5,000円
- 【物品預託】 石野留弘 アクリルたわし55個

世帯会費の
納入に
ご協力いただき
ありがとうございました。



皆さまからお寄せ
いただいた会費は、
誰もが安心して暮ら
せる地域づくり活動
の貴重な財源とし
て、大切に活用させ
ていただきます。

今後とも、皆さま
の温かいご支援とご
協力を賜りますよう
お願いいたします。

社会福祉協議会では相談内容に応じて
窓口を設置しています。

ひとりで悩まず
一度ご相談ください

相談無料

秘密厳守

日常生活の心配ごと、悩みごとの相談 (心配ごと相談)

開設時間 午後1時30分～午後4時
相談員 民生委員・児童委員

開設場所	開設日				問合せ先
	11月	12月	1月	2月	
新湊交流会館	7日	5日	なし	6日	新湊支所 ☎82-8450
	21日	19日	16日	20日	
大島社会福祉 センター	5日	3日	7日	4日	地域福祉課 ☎52-5190
	19日	17日	21日	18日	

仕事や生活に困っている方の相談 (自立支援相談)

時間 月～金曜日（年末年始、祝日を除く）
午前9時～午後5時
場所 大島社会福祉センター

問合せ先 射水市生活自立サポートセンター
（地域福祉課内）☎52-7080

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償します。
もしもの時に備えて、ご加入をおすすめしています。

主な補償内容

1 ケガの補償



活動中、転んでケガをして
通院したとき…など

2 賠償責任の補償



活動中、借りているものを誤って
壊してしまったとき…など

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

地震災害による復興支援ボランティアの場合は、活動中の余震による災害危険が想定されるため、**天災タイプ**の加入をおすすめしています。

風水害などが原因でケガをした場合は基本タイプでも補償されます。



※活動場所と自宅との往復途上の事故も補償されるため、居住地のボランティアセンターにてご加入ください。
※補償期間は手続き日の翌日から2020年3月31日まで。年度ごとの加入になります。

問合せ・申込先

射水市ボランティアセンター (射水市小島700番地1) ☎52-5190
新湊ボランティアステーション (射水市三日曾根9番18号) ☎82-8450

ホームヘルパー募集

空いている時間に、高齢者や障害者宅を訪問して、スムーズな日常生活を送れるよう介護や家事援助サービスをお手伝いしていただけませんか

資格要件 介護職員初任者研修等修了者(旧ホームヘルパー2級課程含)、普通自動車運転免許資格を有する者
勤務時間 原則として午前7時から午後10時までの時間
賃金 生活援助・身体介護(時間給・1時間当たり単価)
1,100円(月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分)
1,375円(月～金曜日の午前7時～午前8時30分及び午後5時15分～午後10時)
1,485円(休日の午前7時～午後10時)

●不明な点などがありましたら、お気軽に問合せしてください。

申込・問合せ先

射水市社協ヘルパーステーション ☎82-8455



プレゼントクイズ

○の中に言葉を入れてください。

クイズに答えて正解者の中から抽選でプレゼント!



図書カード
500円分!

クイズ 障がい者スポーツは別名、なんと呼ばれているでしょう?

「○○○○○○○・スポーツ」

(ヒントは特集P2 障がい者スポーツと心のバリアフリー にあります)
ハガキ、又はFAXに**クイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、本誌の感想(良かったコーナー、改善点など)**、その他ご意見などを記載し下記まで。

あて先

〒939-0274 射水市小島700番地1
(福)射水市社会福祉協議会「福祉いみず プレゼントクイズ係」
FAX 0766-52-6190

応募締切

令和元年12月2日(月) 必着
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

今回の記事を編集している時に、学生時代に障がい者のスポーツ大会にボランティアとして参加したことを思い出しました。それぞれの目標に向かって競技に臨む選手の姿や、記録が出た時に見せる選手の表情がとても印象的でした。2020年のパラリンピックでは世界中のトップアスリートが東京に集います。オリンピック同様いろんなドラマがみられるのではないかと、今からわくわくしています。

次号▶No.57 令和2年2月発行